

令和7年度 指導計画・評価規準 1 学年 教科名【技術・家庭科 技術分野】 使用教科書【東京書籍】 指導者 【岡部 堅】							
学期	学習指導要領と単元名	学習内容	配当 時数	観点別評価規準			主な評価方法
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
1	技術分野ガイダンス 1 編 1 章 材料と加工の技術の原理・法則と仕組み ①身の回りの材料と加工の技術 ②木材、金属、プラスチックの特性 ③材料に適した加工方法 ④丈夫な製品を作るために ⑤材料を加工の技術の工夫を読み取ろう	・3学年間の学習内容を確認する。 ・なぜ技術を学ぶのかを考え、身の回りの製品などを「技術の見方・考え方」の視点で観察する。	2			3学年間の技術分野の学習に見通しを持ち、生活や社会を支えているさまざまな技術について関心を持とうとしている。	知識・技能 ・ペーパーテスト ・作業プリント ・ワークノート ・実技テスト ・作業の取り組み ・レポート ・小テスト 思考・判断・表現 ・発言 ・ワークノート ・作業の取り組み ・レポート 主体的に学習に取り組む態度 ・発言 ・ワークノート ・作業プリント ・作業の取り組み ・レポート
		・木材の特徴 ・金属の特徴 ・プラスチックの特徴 ・材料に適した加工法 ・構造と部品を丈夫にする方法	6	材料と加工の特性等の原理・法則と、材料の構造・加工方法等の基礎的な技術の仕組みについて理解している。	材料と加工の技術に込められた問題解決の工夫について考えている。	主体的に材料と加工の技術について考え、理解しようとしている。	
		・問題の検討、解決策の課題設定 ・機能の検討 ・材料の検討 ・構造の検討 ・加工方法の検討 ・等角図 ・第三角法による正投影図 ・寸法記入	10	製作に必要な図をかき、安全・最適な製作や検査・点検等ができる技能を身に付けている。	問題を見いだして課題を設定し、材料の選択や成形の方法等を構想して設計を具体化するとともに、製作の過程や結果の評価、改善及び修正について考えている。	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりしようとしている。	
		・部品表、材料取り図の作成 ・製作工程表の作成 ・けがき ・切断 ・部品加工 ・組み立て ・仕上げ(塗装)	15	安全で適切な製作や検査修正ができる技能を身につけている。	製作の過程や問題解決の結果を評価し、改善・修正する方法について考えている。		
2	1 編 2 章 材料と加工の技術による問題解決 ①問題を発見し課題を設定しよう ②製作品を構想し、設計しよう ③製作の計画を立てよう ④作業で手順を考え製作しよう ⑤問題解決の評価、改善・修正						
3	1 編 3 章 社会の発展と材料と加工の技術 ①材料と加工の技術の最適化 ②これからの材料と加工の技術	・社会からの要求 ・安全性 ・環境への負荷 ・経済性 ・持続可能な社会の構築の検討	2	生活や社会、環境との関わりを踏まえて、材料と加工の技術の概念を理解している。	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、材料と加工の技術を工夫し創造しようとしている。		